



2024年2月1日

各位

会社名 ローム株式会社
代表者名 代表取締役社長 社長執行役員
CEO 松本 功
(コード:6963、東証プライム市場)
問合せ先責任者 広報IR部 統括課長 後藤 辰英
(TEL.075-311-2121)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2023年11月1日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期通期連結業績予想数値の修正(2023年4月1日～2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	500,000	53,000	70,000	59,000	151.77
今回修正予想 (B)	470,000	44,000	64,000	48,000	123.47
増減額 (B-A)	△ 30,000	△ 9,000	△ 6,000	△ 11,000	
増減率 (%)	△ 6.0	△ 17.0	△ 8.6	△ 18.6	
(参考)前期実績 (2023年3月期)	507,882	92,316	109,530	80,375	204.66

(注)当社は、2023年10月1日を効力発生日として、普通株式1株につき4株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「1株当たり当期純利益」を算定しております。

2. 修正の理由

世界経済は、地政学リスクへの警戒、世界的なインフレーションによる金利上昇、加えて不安定な為替相場などにより、依然として先行きが不透明となっております。エレクトロニクス市場においては、気候変動対策や脱炭素化社会に向けた省エネルギー化の一層の促進に加えて、各国における工場の自動化・デジタル化投資などが順調に推移するものと思われま。第3四半期決算日現在においては、SiCパワー半導体などの主力製品は堅調に推移しました。注力の自動車市場におきましては自動車生産が回復基調ということもあり、毎四半期の売上は増加し続けておりますが、想定を超える自動車関連部品の在庫調整もあって、年間成長は限定的となる見込みです。また、産業機器市場及びコンピュータ&ストレージ市場においては在庫調整と需要低迷が長引いている状況です。これを受けてロームグループでは、経費を抑制するなどコスト削減に努めております。結果として、通期の業績は2023年11月1日に公表した連結業績予想を下回る見通しです。一方でロームグループが目指すグローバルメジャーへの成長を実現するには、パワー・アナログ製品の生産能力を遅滞なく増強する必要があります。したがって、今期の設備投資につきましては足元の業況にとらわれることなく、期初の計画を変更せずに全ういたします。

以上のような状況を踏まえ、2024年3月期の通期連結業績予想につきまして、上記のとおり修正いたします。

なお、第4四半期の為替レートは、1米ドル=140円を前提としております。

<業績等の予想に関する注意事項>

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以 上